

令和元年度第1回半田市障がい者自立支援協議会 相談支援連絡会ダイジェスト

発行元：半田市 令和元年6月

相談支援連絡会は半田市の相談支援員の情報共有や研鑽の場として、研修、勉強会や個別事例検討会などを行っています。今回の相談支援連絡会は、本人の思いをしっかりと聴くことに重きをおいた「本人中心支援」について、NPO 法人日本相談支援専門員協会顧問の福岡 寿氏にご講演いただきました。相談支援の基本となる「本人のための支援」とは何か、そのために支援者が何をすべきなのか、実体験を基に話していただきました。

- 講師 : 福岡 寿 氏
- 日時 : 令和元年5月17日(金) 9時30分～12時00分
- 場所 : 雁宿ホール2F 社会適応訓練室
- テーマ : 本人を中心とした支援を本気で考える～共生社会を目指して～
- 参加人数 : 56名



■ 本人中心支援とは

支援者が本人のやりたいこと、心の動くことを探り、どんな支援が受けたいかを本人が選びながら決めていくことを指します。「試す」→「振り返る」→「心の動くことを探す」→「再び試す」のサイクルをつくり、そのための自己決定の支援が必要となります。

■ 本人不在の支援の問題点

先生のような事業提供の経験上、家族など周囲の思いばかりに対応した支援では本人の希望や思いが置き去りにされてしまい、その時にはうまく支援できているように見えても、後々になって大きな問題が生じてしまう。この問題を解決するためには、当初と比べて大きな負担が必要となってしまいます。

■ 支援者はどのように支援に取り組むのか

相談支援専門員がより多くの支援機関を巻き込み、支援会議を行うことにより、事業（サービス）に利用者のくらしを合わせるサービス主導型の支援を、本人を真ん中にサービスを組み立てるニーズ主導型の支援へ転換させることができ、本人中心支援が実現できます。支援者側の意図に合わせようとしてはいけません。



問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（徳山）

TEL：0569-21-5585

半田市 地域福祉課（富田・片山）

TEL：0569-84-0641